

令和2年7月31日

保護者の皆様

昭島市立富士見丘小学校
校長 稲垣 達也

新しい夏休みを創る

保護者の皆さまには、この一学期は公私ともに混迷を極める中、学校の教育活動にご理解とご協力を賜るとともに、お子さんのご指導に尽力いただき、心からお礼申し上げます。また、休校中から三者面談、校長面談、アンケート、今月末には授業参観や保護者会へのご参会などのご支援もいただき、重ねて感謝いたします。

皆さまが、お子さんに向ける温かなまなざし、お子さんが楽しく学校生活を送っている喜びや期待、熱い思いがストレートに伝わってきました。そして、学校に向けてもたくさんの励ましと勇気を戴きました。皆さまのお言葉が、教職員一同のエンジンを動かす大いなるエネルギーとなっています。ありがとうございます。

さて、7月中旬以降、全国で新型コロナウイルス感染者数が激増し、益々混沌とした情勢が続いています。また、各地で想像を絶する豪雨による甚大な災害が起こっており、人知人力を超えた自然の威力に畏れの感情を抱かざるを得ません。

また、感染症対策や経済問題をはじめとして、世界的に困難な課題が無数に横たわっている中、未来社会は極めて不透明です。しかも、世界では、その課題に目を背けるかのように、既存の枠組みやルールに縛られ、むしろポピュリズムのような反グローバリズム的な動きさえ感じられます。

ひたすら「平穏な日々の訪れ」を願いつつ、願っているだけでは、何も解決しない世の中になりました。激変していく世界の中で、未来を創るのは、やはり今の子供たちです。今まで通りとか、昔は良かったとか、懐古主義で内向な動きに縛られることなく、グローバルに、そしてクリエイティブにものごとを解決していこうとする「未来の守護者」の育成に、これからも全力を尽くしてまいります。

本日の終業式で、子供たちにお伝えした「それぞれの学年の様子」を紹介します。

【さくら】 さくら学級のみなさんは、3月からの休校中も毎週学校に通って、とても力を付けました。学校再開の6月には、他の学年を一步も二歩もリードして始めることができたので、今、その成果が出て、授業参観にいらした保護者の方々から、驚くことがいっぱい成長ぶりです。

【1年生】 毎日、教室は、明るい笑顔と、笑い声で一杯でした。毎日の一つ一つが、楽しくてしょうがないようです。今日は何をするのかな、明日は何をするのだろうか。毎日ワクワクして学校に来ていました。素敵な1年生です。

【2年生】 1年生のお手本としてすごく頑張っていますね。幼稚園や保育園から来た1年生は、いつも2年生を真似して過ごしています。積極的に発言して授業に参加する姿が立派です。わずか2ヶ月で、大きく成長した2年生です。

【3年生】 唯一、3階で学んでいます。少し過ごしにくいランチルームですが、友だち同士支え合い、ほのぼのと学校生活を楽しんでいます。先生を助けてくれる人、お手伝いをしてくれる人が沢山いる心優しい3年生です。

【4年生】 キビキビしていて、何事にも前向きに取り組んでいます。いつ見ても真面目に学習に向き合っていて、どんどん新しいことを吸収し、力を付けていると思います。休み時間になるとすぐに外に出て元気いっぱいです。さすが4年生、と言いたくなるような立派な4年生です。

【5年生】 職員室近くの教室で、いつも真剣に授業を受けている様子が伝わってきます。担任の先生が怪我をしている今、みんなが先生をカバーして、一人一人がしっかり行動している姿に感動です。特に校庭の体育や給食の準備など、担任が動けない場面では、さらにみんなで声を掛け合いながら協力している姿が、本当に素晴らしい5年生です。

【6年生】 コロナ禍の中、最高学年として、自分たちは何ができるのだろうか、いつも考えながらベストの行動をしています。1年生は、6年生を見掛けただけで、ホッとして安心しています。5年生は、無意識のうちに、6年生を目標にしてとても頑張っています。頼りがいがあり、穏やかでもあり、全学年があこがれている6年生です。

「未来の守護者」である富士見丘小学校の子供たちは、実に健気に、この一学期を乗り越えてきました。乗り越えることで、大きく成長してきました。頑張った一学期を、ご家庭でも、あらためてほめてあげてください。

そして、8月24日の始業式を笑顔で迎えられるように、夏休みも、「一人にひとつの命」を大切に過ごしてください。